



福島南ロータリークラブ

基本方針: 原点を見つめ、みんなのための奉仕を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



■会長：紺野仁昭 ■幹事：佐久間 功
■会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：佐藤朋也
■委員：斎藤信男 斎藤善重 佐々木孝光 丹治洋子

第10回例会

平成24年9月12日(水) サンパレス福島

■会員/67名 ■出席/45名 ■出席率/67.16% ■メイクアップ/22名 ■修正/67名 ■修正率/100%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 社会奉仕委員会セミナー報告
菅野 良二 社会奉仕副委員長
- 4 ロータリーの友読みどころ
クラブ会報・雑誌委員会
- 5 誕生祝い 丹治 洋子 親睦副委員長
- 6 ガバナー補佐スピーチ
2012-2013年度 第2530地区第一分区
ガバナー補佐 柳沼 克己 様
- 7 閉会点鐘

会員の広場 <第4回理事会情報>

10月15日(月)は移動例会として姉妹クラブの東京麹町RCへ訪問することになりました。現在、24名の参加が予定されていますが、できるだけ多くの方の参加をお願いいたします。
また、10月10日(水)の例会には東京大崎RCの皆様がメイクアップされる予定になっていますので皆さんであたたかくお迎えいたしましょう。

今日の一面記事

金属のチューブの中にお湯を流すとその熱で発電する「熱発電チューブ」と呼ばれる技術について、電機メーカーの「パナソニック」が世界で初めて実用化にめどをつけた。将来、工場やビルでの発電への活用が期待される。

NHK Web 配信記事

◆会長あいさつ◆

紺野 仁昭 会長

はじめに、本日はRI第2530地区県北第一分区の柳沼ガバナー補佐をお迎えしての例会です。後ほどスピーチをいただくことになっておりますので、よろしくお願いたします。

柳沼ガバナー補佐には、今年度に入る準備期間中よりご指導をいただいております。県北第一分区におきましても会長幹事会の第3回目が終了しましたが、大変和やかなムードの中で進められており、各クラブの会長幹事さん共に良い関係にあると思っております。新年度になり、約2ヶ月が過ぎたところですが、これからも各クラブの活動にご指導をよろしくお願いたします。

さて、今月は、新世代月間です。先週の例会において高橋勇雄委員長から新世代についてスピーチいただきました。それに重複する部分があるかと思いますが、新世代奉仕について少しお話しをしたいと思います。

我々ロータリアンの責務は、年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しながら、新世代に将来への準備をさせることであります。

基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己啓発であります。第2530地区の活動の基盤はインターアクト・ローターアクト・ライラ(青少年指導者養成プログラム)のプログラムです。ほかに青少年交換というプログラムもありますが、第2530地区では国際奉仕委員会で取り組んでいます。各クラブともに会員増強に苦慮していますが、インターアクトクラブやローターアクトクラブも例外ではありません。

インターアクトクラブやローターアクトクラブでロータリー活動を学んだ人が、会社の若手リーダーになり、幹部候補になります。これは職業奉仕でもあります。福島を背負って立つ人を育成することが、とても重要なのです。

新世代の活動は、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕など広く委員会活動にも密着しています。若い人でロータリークラブに関係なくボランティア活動に参加している人も大勢います。また、町内会の活動であるとか、趣味のサークルであるとか、何かの機会若くは若い人との出会いがありましたら、インターアクトクラブやローターアクトクラブ、そしてロータリークラブの話をしていただきたいと思います。

以上で会長挨拶といたします。

◆社会奉仕委員会セミナー報告◆

菅野 良二 社会奉仕副委員長



社会奉仕セミナーが先週の土曜日(9月8日)に郡山南東北総合卸センターにて開催されました。

セミナー開催に先立ち伊藤浩ガバナーより「社会奉仕部門はロータリーの心臓部門である」との挨拶がありました。また、伊野克彦社会奉仕委員会委員長より地域社会奉仕委員会のアンケート調査結果の報告があり、通常社会奉仕活動を実施しているクラブは約80%で今回の震災に関して何らかの地域社会奉仕活動を実施したクラブは50%にとどまっているとのことでした。

セミナーの第一部では、阿久津肇バスターガバナーによる「社会奉仕のあり方とその実践」と題しての基調講演があり、第二部では、各分区のガバナー補佐より「各分区の社会奉仕活動の現状について」の活動報告がありました。

◆ロータリーの友読みどころ◆

クラブ会報・雑誌委員会 齋藤 浩 副委員長



ロータリアンにとってロータリーの友は必ず読まなければならない義務となっております。

横組みのページ

今月は、新世代月間としてP1にRI会長のロータリーの未来を支える新世代奉仕としてメッセージが載っております。また、P14には、RI指定記事として、先輩から学ぶことと題してシアトルの若いロータリアンが先輩たちの応援を受け、伝統に挑戦する記事があります。

縦組みのページ

P2~「いのちの森を未来につなぐ」と題して、森の大切さを強調する横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏の記事が掲載されています。また、友愛の広場P22の男性の更年期障害について、P34の姉妹クラブ(東京麹町RC)の投稿記事も必見です。

◆誕生祝い◆

丹治 洋子 親睦副委員長



今月の誕生者は、佐藤雅弘会員(H22.9.5)、國井元会員(H22.9.15)、大野順道会員(H26.9.8)、渡辺雅浩会員(H35.9.21)の4名です。

残念ながら佐藤雅弘会員と國井元会員は欠席されておりましたが出席した大野順道会員と、渡辺雅浩会員に紺野会長からプレゼントが贈られました。

◆ガバナー補佐スピーチ◆

2012-2013年度 第2530地区第一分区

柳沼 克己 ガバナー補佐



私は国際ロータリー第2530地区県北第一分区2012-2013年度ガバナー補佐を仰せつかっております、二本松ロータリークラブ所属の柳沼克己と申します。

ガバナー公式訪問後の県北第一分区の合同歓迎晩餐会には南クラブにホストを引き受けていただき盛大、且つ賑やかに開催されましたことに感謝を申し上げます。

さて、補佐に就任して早3ヶ月目に入りました。ガバナー補佐は各クラブの運営が円滑に行くように地区のテーマ、ガバナーの方針等を分区へ橋渡しをします。主な役割は担当するクラブが効果的に運営されるよう支援することによって、ガバナーを補佐することです。例年補佐の個性の相違もあると思いますが、補佐要覧3ページにはそう書いてあります。

さて、国際ロータリー会長田中作次氏は「奉仕を通じて平和を」テーマとし、国際協議会レポートでロータリーの様々な経験から「どんな些細な事でも、人を助けることがいずれは平和に繋がることに気づきました」と言われております。「平和」については、一番簡単なのは「平和」でない状態がどのようなものであるのかを語る。戦争や暴力のない世界で飢餓や弾圧や貧困を恐れることのない状態でありました。

地区テーマは「ロータリー精神を实践しよう」で地区の目標は、年次計画書に9項目を掲げてあります。11/17~18日には地区大会が御座います。是非多数のご参加をお願い致します。

そして、この一年間伊藤ガバナーのご指導をいただきながら、ガバナーが進められるロータリーの方針を県北第一分区において実践できるよう、杉島洪徳幹事、富田恵子幹事のお力を借りまして微力では有りますが精一杯努力していく考えですので会員皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

今月・来月のプログラム

9月19日(水)	ゲストスピーチ 福島成蹊高校IAC会員
9月26日(水)	新入会員歓迎会 新会員セミナー 16:00~
9月30日(日)	猪苗代湖水草除去奉仕作業

一編集後記一

先週のウマオイ虫に続いて我が家にコウモリが舞い込んできました。最初はパニックになったのですが今年2回目の出来事で、少し冷静になれました。ある伝説によればコウモリは豊かな富のシンボルとみなされているようです。宝くじでも買ってみようかな。(松崎)